

地域再生に向けた都市農村交流型ワーキングホリデイの展開と課題

- 徳島県・上勝町ワーキングホリデイの事例から - *

Development and Problem at Urban and Rural Exchange Type Working-Holiday for Regional Reproduction In the Case of Kamikatsu-cho, Tokushima Pref. - *

田中紀子** 花岡史恵** 澤田俊明*** 滑川達**** 山中英生****

By Noriko TANAKA** Fumie HANAOKA** Toshiaki SAWADA***

Susumu NAMERIKAWA**** Hideo YAMANAKA****

1. はじめに

中山間地域が抱える課題には、過疎化、少子高齢化、後継者不足などが挙げられ、それらの課題が、より一層深刻化している。近年、これらの課題を解決する方策の一つとして、都市農村交流における労働体験型のプログラムであるワーキングホリデイが注目されている。ワーキングホリデイとは、都市住民がボランティアとして自然豊かな農村地域へおもむき、普段経験したことのない農作業等を経験することで、過疎化・高齢化により労働力が低下した地域で「働く」ということ目的とする事例が多い。

典型的な中山間地である徳島県上勝町においても、地域の生き残りをかけ、都市農村交流型のワーキングホリデイが開催されている。筆者らは、上勝町で実施された上勝ワーキングホリデイ（以下「上勝WH」と略記）の特徴と分析を行い、現在も継続的に上勝WHの調査・研究を実施している¹。

本研究では、現在まで4回実施された上勝WH概要整理、関係者アンケート実施した。そして、地域再生にむけたワーキングホリデイの展開の可能性と、その課題について検討した。

2. 上勝ワーキングホリデイの概要

(1) 背景と経過

上勝町での都市農村交流型ワーキングホリデイは、

* キーワズ：地域計画、市民参加、ワーキングホリデイ
** 正員、(有)環境とまちづくり(〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町福原川北30 TEL0885-44-6290)
*** 正員、博(工)(有)環境とまちづくり(〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町福原川北30 TEL0885-44-6290)
**** 正員、工博、徳島大学工学部(〒770-8506 徳島市南常三島町2-1、TEL088-656-7350)

持続可能な地域づくりを目的とした上勝町住宅マスタープランにおける集落再生活動にて実施されている地域懇談会(中津賀地区くるま座会議)の中で誕生した²。

(2) 上勝ワーキングホリデイの概要

上勝WHは、「参加者は、交通費自己負担で上勝町農家の農作業・里山作業のお手伝いをし、受け入れ農家は、これら作業方法を教え、宿泊と食事を提供する」仕組みで、参加者の交通費自弁で労働に対する報酬は無いが、宿泊・食事等は受入農家が提供する形になっており金銭の供与は発生していない。開催回数は、2006年6月末現在までに4回である。

募集人数は、各回20名であったが、第3次を除き各回とも募集人数を上回る応募があった。第1次～第4次上勝WHの作業内容は、「地域環境整備」「景観調査」「空き家整備」「活性化イベント」と「農作業」であった。表2に上勝WHの概要を示す。

3. 上勝WHアンケート調査

(1) 概要

第1次WHから第4次WHまでのそれぞれにおいて、WH最終日に参加者と受け入れ農家にアンケートを実施した。

表1 対象者別回収状況

アンケート種別	配布数	回収数	回収率(%)
参加者アンケート	101	99	98.0
受入農家アンケート	52	52	100.0

表 2 上勝WH (ワーキングホリデイ) 概要

項目	第1次WH (2泊3日)	第2次WH (2泊3日)	第3次WH (3泊4日)	第4次WH (3泊4日)
期間	2005年3月4日~6日	2005年4月8日~10日	2005年9月15日~18日	2005年3月9日~12日
募集人数	20名	20名	20名	20名
応募人数	40名	39名	16名	39名
参加人数	32名(1都2府7県) 男14名・女20名	29名(2府5県) 男18名・女11名	16名(1都2府6県) 男10名・女6名	24名(2府7県) 男9名・女15名
作業内容	【地域環境整備】伐木・伐木の運搬焼却・間伐材小屋づくり 【農作業】鶏出荷・しいたけ菌詰め・薪割り・野焼き・キウィ剪定・タラメの伏せ込み、他	【地域環境整備】伐木・伐木の運搬焼却・石積み・遊歩道橋設置 【農作業】ひよこの世話・草刈り・彩・こんにやく作り・田起こし・あめご出荷、他	【景観調査】棚田景観調査・里山景観調査 【農作業】すだちの収穫、稲刈り、草刈り、他	【空き家整備】荷物の片づけ 【活性化イベント】里山アート材料整備 【農作業】キウィの袋詰め、しいたけ収穫、草刈り、石積み、他
受入農家	中津賀地区：6戸 其他地区：4戸	中津賀地区：6戸 其他地区：7戸	中津賀地区：2戸 其他地区：6戸	中津賀地区：2戸 其他地区：10戸
保険	ボランティア保険(受入農家負担)		ボランティア保険(参加者負担)	
参加費	往復交通費(参加者自己負担)			
作業報酬	金銭報酬：なし 金銭外報酬：食事・宿泊			
宿泊	受入農家			
PR広報	タウン誌、新聞(地方・全国)、テレビ、ラジオ、大学、メーリングリスト、団体HP等			
体制	主催：中津賀くま座会議(地域住民) 運営協力：上勝町まちづくり推進課 上勝自然体験学習研究会		主催：上勝町産業課 運営協力：上勝自然体験学習研究会	

表 3 アンケートの質問概要(参加者)

番号	質問事項	内容
問1~問3	個人属性	1.性別 2.年代 3.出身地区
問4~問9	参加までの経緯について	4.上勝までの交通手段 5.参加区分(個人参加、グループ参加) 6.グループの人数、属性 7.上勝訪問回数 8.募集案内の認知手段 9.参加目的
問10~問17	今回の参加内容について	10.参加メニュー 11.参加メニューの満足度 12.宿泊先の満足度 13.日程の満足度 14.WH参加への支払い意志金額 15.1回のWHに望ましい日数 16.参加してよかったこと(自由意見) 17.参加して困ったこと(自由意見)
問18~問19	今後のWHについて	18.今後参加したいか 19.今後の希望メニュー
問20	その他、自由意見	

第2次WH以降の設問

表 4 アンケートの質問概要(受け入れ農家)

番号	質問事項	内容
問1~問2	個人属性	1.性別 2.年齢
問3~問6	今回のWHについて	3.今回実施したメニュー 4.WH実施満足度 5.参加者満足度 6.WH参加への支払い意志金額
問7~問8	今後のWHについて	7.今後も受け入れたいか 8.今後継続するとしたらどんな作業メニューが考えられるか(自由意見)
問9	その他、自由意見	

(2) 参加者アンケート結果

ここでは、参加者アンケートについて示す。

図1、図2に、参加者の居住地および年代を示す。

図3に、参加者のWH参加目的を示す。「上勝」が

53%、続いて「農作業」が43%、「WH」が37%であった。このことより、多くの参加者は上勝という地域を魅力に参加していることが伺えた。

図4、図5に、参加者の「WHメニュー満足度」「宿泊先の満足度」を示す。それぞれ、「とても満足」「満足」の合計が、99%、97%と高い満足度を示している。

図6に、「WH参加への支払い意思額」をWH参加者に設問した結果を示す。図より、52%の参加者が0円と回答しており、その一方で、48%の参加者はWH参加への費用の支払い意思を表明しており、28%が5000円と回答している。

図7に、WH参加者の「参加してよかったこと」を示す。29%の参加者が「人との出会い、つながり」をあげている。

WH参加者の参加動機は、「上勝」が最も多かったが、参加してよかったことでは「人との出会い、つながり」が最も多く、「上勝のことを知れた」と回答したWH参加者は、6%と少なかった。

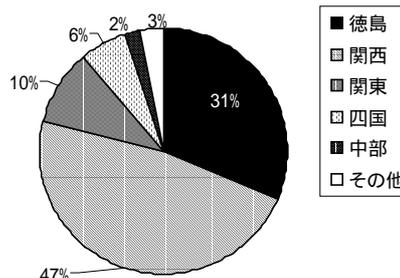


図 1 参加者の居住地 (N = 99)

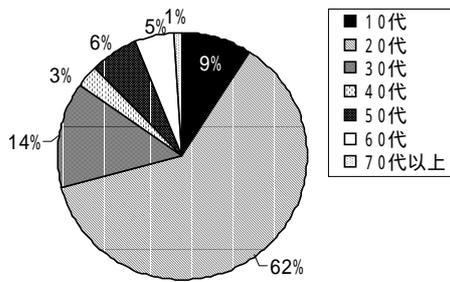


図 2 参加者の年代 (N = 99)

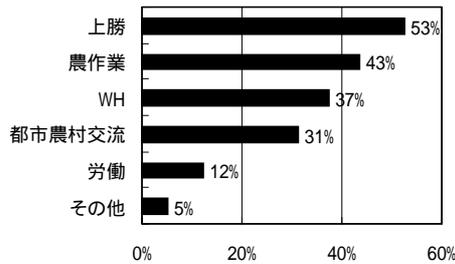


図 3 参加者のWH参加目的 (N = 99)

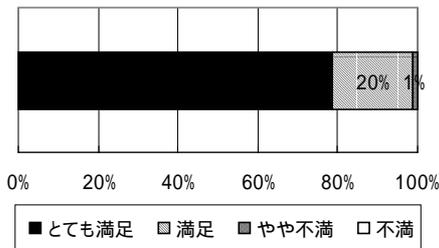


図 4 参加者のメニュー満足度 (N = 99)

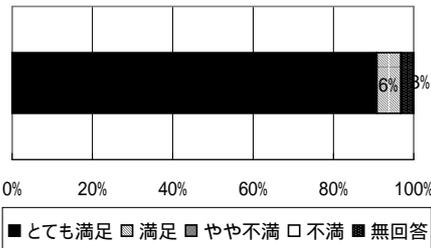


図 5 参加者の宿泊先満足度 (N = 99)

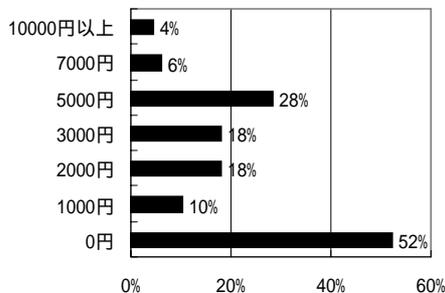


図 6 支払い意思金額 (N = 67)

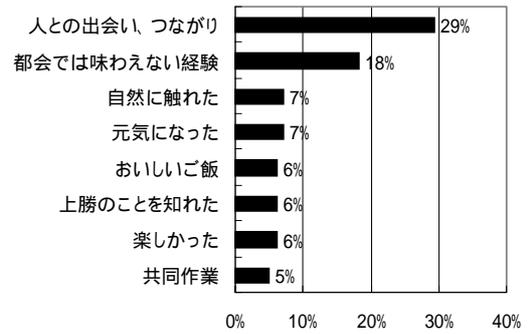


図 7 参加してよかったこと (N = 99)

4. ワーキングホリデイ展開の可能性

(1) WH作業の展開の可能性

第1次～第4次まで試行的に4回開催された上勝WHでは、農作業・地域環境整備・環境調査・空き家整備の作業が参加者に提供された。

表5に、第1次～第4次までの上勝WHにおける作業別参加状況の一覧を示す。表より個別農家の農作業の参加状況と、地域再生に資する地域環境整備・環境調査・空き家整備の参加状況の比率は同程度となっていることがわかる。

このように、上勝町におけるワーキングホリデイは、上勝町の地域再生を目的とした作業に用いられている。

表6に、上勝WHの作業項目別の作業の概要を示す。WHでの作業のうち、農作業・空き家整備は作業受け入れ者が「個人」であり、地域環境整備・環境調査は、作業受け入れ者が「組織・団体」となっている。

表 5 上勝WHの作業別参加状況一覧 (枠内上段数値：参加人数、下段数値：宿泊受け入れ農家戸数)

作業項目	1次	2次	3次	4次	計
農作業	10名 4戸	12名 7戸	5名 3戸	18名 8戸	45名 22戸
(小計-1)					45名 22戸
地域環境整備(水辺空間整備等)	24名 6戸	17名 6戸	-	-	41名 12戸
環境調査(里山アート)	-	-	9名 4戸	3名 3戸	12名 7戸
環境調査(棚田)	-	-	2名 1戸	-	2名 1戸
空き家整備	-	-	-	3名 1戸	3名 1戸
(小計-2)					58名 21戸
計	34名 10戸	29名 13戸	16名 8戸	24名 12戸	103名 43戸

表 6 上勝WHにおける作業の概要

作業項目	作業の概要
農作業	受け入れ農家での作業 作業：彩出荷・すだちの収穫・しいたけ菌詰め・しいたけ収穫・キウイ剪定・キウイ出荷・タラメの伏せ込み・こんにやく作り/ひよこの世話・鶏出荷・あめご出荷/薪割り・草むしり・田起こし・石積み等
地域環境整備	上勝町中津賀地区住民の発意による地域住民による水辺空間整備 作業 - 1：【雄淵・雌淵環境整備】伐木・伐木の運搬焼却・石積み・遊歩道橋設置 作業 - 2：【間伐材小屋づくり】小屋づくり、(柿しぶ塗装)
環境調査(里山アート)	上勝里山アートプロジェクトと連携実施 作業 - 1：上勝町全域の里山アート設置候補地の景観調査 作業 - 2：里山アートのプレ作品づくりのための木材搬出・木材皮剥
環境調査(棚田)	「榎原の棚田」の文化的景観調査と連携実施 作業 - 1：棚田景観の景観資源調査 作業 - 2：棚田景観の視点場調査
空き家整備	Iターン者が活用する空き家整備 作業：空き家の清掃、片付け、荷物運搬

(2) 上勝町WHの課題

上勝町は、人口約 2100 名、高齢化率 46%の小さな過疎の町であり、財政基盤も都市部に比べて脆弱である。

試行的に実施されてきた上勝町WHは、地域再生の観点から今後、下記に留意して展開することが望ましいと考えられる。

a. WH運営体制の確立

上勝町におけるWHは、「住宅マスタープランの推進事業」の中で実験的に運営された。今後、継続的なWH実施には、WH運営体制の確立が不可欠となる。上勝町においては、行政単独でWH運営体制を構築するのではなく、上勝町役場と上勝町内 NPO 組織等との連携によるWH運営体制の確立が望まれる。

b. WH参加費の有料化の検討

上勝町のWHの仕組みは、参加者が交通費自弁で労働を提供し、そのかわりに、受け入れ者が宿泊と食事を提供するという、飯田型(長野県飯田市)の仕組みを準用している。

今後は、行政の財政的負担を減ずるためにも、現在無料で実施しているWH参加費の有料化の検討実施が望まれる。

c. WHの募集

これまでに 4 回試行された上勝町WHにおける参加者および受け入れ者の募集は、いずれも、個人単位で行われた。

今後は、個人単位の募集だけでなく、参加者・受け

入れ者とも、組織・団体単位での募集も併用することが望まれる。

d. WHの開催時期・期間

これまでに 4 回試行された上勝町WHは、参加者を同時に受け入れる「受け入れ同時開催方式」で実施された。今後は、「受け入れ同時開催方式」だけでなく、受け入れ者のニーズにより即応した「受け入れ個別開催方式」も併用することが望まれる。

また、WHの実施期間についても、参加者・受け入れ者のニーズに即応した期間での実施が望まれる。

e. WHの受け入れ者の確保

これまでに 4 回試行された上勝町WHでは、全国より受け入れ定員(20 名)を大幅に上回る参加希望があるが、受け入れ者の不足により、受け入れ人数の点で参加者ニーズに答えられていない状況が発生している。

今後、受け入れ者のニーズや課題を解決して、受け入れ者の確保を継続的に実施していくことが急務となっている。このためには、組織的受け入れ制度の対応や、町内における組織・情報などの連携強化が望まれる。

5. おわりに

多くの過疎地では、人口減少の歯止めがかからず、悪い循環からの脱却を模索し続けている。

上勝町で実施された都市農村交流型ワーキングホリデーは、4 回の模索・試行の結果、地域再生の有力施策として関係者に認識され、上勝町住宅マスタープランにおいて「棚田オーナー制」と共に、「交流定住の施策」として位置づけられた³。

今後、都市農村交流型ワーキングホリデーから地域再生型ワーキングホリデーへの新たな展開を目指して、試行及び調査研究を継続していく予定としている。

参考文献

¹ 田中紀子・澤田俊明ほか：都市農村交流型ワーキングホリデーの特徴分析 - 徳島県・上勝町ワーキングホリデーの事例から - 第 32 回土木計画学研究(秋大会)講演集, Vol.32, 2005 年 12 月
² 上勝町：平成 17 年度上勝町住宅マスタープラン推進報告書
³ 2 と同じ